

平成 30 年度社会実装教育フォーラム参加報告

副技術長 茂木 貴之
第一技術班 佐竹 卓彦

1. 参加目的

社会実装教育は「学生が社会に出課題を見いだし、解決手段を考案し、必要な科学技術を創出し、それを社会に適応して定着させる活動」を行うが、佐世保高専でも社会実装教育が実践されている。本校学生の発表の聴講によりその活動に対する理解を深めるとともに、他高専の発表を通してエンジニアリングデザイン教育に関する情報収集を行うことを目的として参加した。

2. 開催概要

主催: 東京工業高等専門学校

共催: 一関工業高等専門学校, 小山工業高等専門学校

後援: (一社)東京高専技術懇談会・八王子商工会議所・相模原商工会議所

開催日: 2019年3月1日(金)-2日(土)

会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター

プログラム:

3/1(金)

13:00-13:15 開会式

13:15-14:55 ショートオーラル発表(1チーム80秒)

15:05-16:40 ポスター発表(前半・後半, 45分交代)

16:50-17:40 企業関係者・学生交流会

3/2(土)

9:00-9:10 ファイナル進出者の発表

9:10-10:45 ファイナル発表(発表8分, 質疑応答3分)

11:00-11:45 高専機構谷口理事長特別講演

11:55-12:15 表彰・講評

13:05-14:00 PROG 講評

3. 参加報告

茂木と佐竹は佐世保高専から参加する学生5名を帯同して参加した。フォーラムには19高専から71チームが参加し、初日は80秒のショートオーラル発表とポスター発表が行われた。2日目は初日の発表による審査で選ばれた8チームがオーラルによるファイナル発表を行い、審査により各賞が授与された。佐世保高専からは4チームが参加して、1チームがファイナル発表に進出した。社会実装対象は逃したが、企業賞など受賞した。

プログラムの最後に行われたPROG講評は学生の社会人基礎力(ジェネリックスキル)を測るPROGテストを受けた学生に対する結果の解説である。テストの結果から自分自身の特徴を把握し今後の成長につなげるための解説が行われた。社会人基礎力を細かく分類しそれぞれの強化のための指針などの説明があり、参考となることが多くあった。